

とうかい元気市
毎月最終の日曜日に開催



目次

12月定例議会	2
一般質問 Q & A	4
総務委員会調査視察	11
秋の叙勲、3月定例議会日程	12

東海村役場広場

12月定例議会

南台等の復興対策、 百塚保育所の増築工事費を補正

平成24年第4回定例会（12月議会）は南台および緑ヶ丘住宅団地内における復興対策工事に関連する経費や百塚保育所の増築工事費を含む平成24年度一般会計補正予算、水道加入分担金と水道料金を増額する改正条例など、村長から提出された21議案すべてを可決しました。

また、文教厚生委員会から提出されたB型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書を全員一致で採択し、国の関係省庁に送付しました。

4月から中学校に 直接雇用の外国語 指導講師を配置

問 外国語指導講師を何人採用するのか？ 勤務体制は？

答 現在は業務委託による外国人英語指導講師が各小中学校に1人ずつ配置されている。4月から中学校のみ村直接雇用の外国語指導講師に変更する。採用は各中学校1人ずつ。勤務時間は7時間です。変更理由は、学

電気料金の補正増

問 なぜ今回、庁舎や小中学校での電気料金が補正増されているのか？

答 東京電力の値上げに伴うもの。節電で対応できない施設で補正増を行った。

真崎古墳群公園の 用地取得と除染

問 今回で8割の用地取得となる。今後の取得の見通しは？ また、除染計画はどのようなか？

答 未買収地は3筆。うち2筆は同意は得ていないが、公園用地としては了解を得ている。今年度、阿漕ヶ浦・平原東部第1児童公園を除染。残り5つの公園（石神城址・白方・白方第2・豊岡なぎさの森・真崎古墳群）は25

12月定例議会の日程は次のとおりでした

12月3日	本会議	開会
11日～13日	本会議	一般質問
18日	本会議	議案審議



真崎古墳群

年度に線量を計りながら除染を進める。

各議員の賛否（賛否の分かれた議案等のみ掲載）

会派名		新国会					新和とうかい				光風会			豊創会		日本共産党		公明党		無	
議員名	件名	鈴木昇	飛田静幸	村上邦男	舛井文夫	川崎和典	吉田充宏	大内則夫	越智辰哉	河野健一	武部慎一	江田五六	恵利いつ	照沼昇	村上孝	豊島寛一	大名美恵子	川崎篤子	岡崎悟	植木伸寿	相沢一正
		○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○		
		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○		

○…議案等に対して賛成 ×…議案等に対して反対



外宿浄水場

水道料金と水道加入分担金を改定

給水原価（水をつくる費用）と供給単価（水道料金）の差損の改善や、建設から36年が経過し老朽化が進んだ外宿浄水場の更新費用を確保するため、水道料金、水道加入分担金改定に係る改正条例を賛成多数で可決しました。施行は4月1日から。（下表は料金表の一部を掲載。税込み）

加入分担金（新規加入の方）（単位：円）			
口 径	改定前	改定後	差 額
13mm	63,000	94,500	+ 31,500
20mm	84,000	126,000	+ 42,000

水道料金【基本料金】（単位：円／月）			
口 径	改定前	改定後	差 額
13mm	1,155	1,270.5	+ 115.5
20mm	1,207.5	1,328.25	+ 120.75

水道料金【従量料金】（単位：円／㎡）			
口 径	改定前	改定後	差 額
13 ～ 25mm	147	162.75	+ 15.75

※従量料金（2ヵ月で20㎡を超えたとき）

東海村水道加入分
担金徴収条例の一
部を改正する条例

反対討論

日本共産党

川崎 篤子議員

加入料の引き上げは、近隣との格差は正
が理由であるが、も
もと高い近隣の金額
定に合わせる必要は
ない。大震災から1
9ヵ月、いまだにも
の生活に戻れない方
もいる。デフレが続く中、

東海村水道事業
給水条例の一部
を改正する条例

反対討論

日本共産党

川崎 篤子議員

村独自に、子育て中の
若い人たちや高齢者な
どの低所得者の負担軽
減を図るべき。住民の
生活状況に沿って考慮
するならば、引き上げは
すべきではない。

公有水面埋立て
に関する意見に
ついて

反対討論

日本共産党

大名美恵子議員

優先すべきは、県民
が必要としている生活
に密着した公共事業で
ある。

今、北埠頭用地は日
立建機とコマツの大型
機械を製品のまま船に
積み込むため埋めつく
す形で常時置かれ、専
用積み出し港」と化し
ている。県や市町村の
税金をつぎ込んで企業
を呼び込む産業政策
は、県民・村民生活の
向上につながっている
とは考えられない。中
央埠頭建設計画の中止
と、中小企業振興につ
ながり生活に密着した
公共事業への切りかえ
を求めるべき。

12月定例議会に提出された請願・陳情

《請願》

受理番号	件 名	結 果
請願第24-8号	B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書採択の請願	文教厚生委員会へ付託 採択

《陳情》

受理番号	件 名	結 果
陳情第24-3号	介護職員処遇改善加算の継続、拡充を求める陳情書	議席配付
陳情第24-4号	安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情書	議席配付

12月議会の一般質問

議員名	質問事項
岡崎 悟	▼一人暮らしの高齢者対策▼レアメタルなどの回収とリサイクル ▼学校支援地域本部▼リース方式によるLEDの設置▼DV被害者への短期的住居支援
大内 則夫	▼村長発言▼建築単価の現状認識
恵利 いつ	▼省エネ、節エネ、創エネの取り組み▼精神障がい者のための授産施設▼安全な通学路確保
川崎 和典	▼平成23年度の決算審査▼白方コミセン隣接地に多目的広場確保 ▼住宅密集地域の防災、減災への取り組み
相沢 一正	▼原子力地域防災計画▼まちづくりのなかの農業▼JCOの放射性廃棄物焼却施設
大名美恵子	▼住宅再建のため復興交付金効果促進事業の柔軟運用を求めること ▼国保の「広域化」の動きとガイドライン改定▼保育所の入所待ち児童の解消対策▼東海・東海第二原発の震災被害▼ヨウ素剤配布マニュアル作成▼児童・生徒の携帯電話使用におけるトラブル防止
植木 伸寿	▼子育て3法具体化▼低所得者、高齢者住宅の政策▼空き家条例の進捗▼災害時非常用持ち出し袋の全戸配布
村上 孝	▼平成25年度予算編成▼農業政策▼福島第一原発事故の風評被害
川崎 篤子	▼今後の原子力政策と地域振興▼一部損壊住宅の修繕費助成▼各コミセンに速やかに出入りできる道路の拡幅▼JCO低レベル放射性廃棄物の焼却施設建設反対▼白方小創立50周年記念誌
河野 健一	▼白方小跡地公園▼災害時における相互応援に関する協定▼東海村観光協会
越智 辰哉	▼東海村の人口問題▼行政情報等の住民周知・住民広報のあり方 ▼テクノ交流館「リコッティ」の活用▼文教ゾーンに位置する中丸小学校の改築工事
照沼 昇	▼東海駅西地区区画整理事業の完成▼東海第二廃止後の財政状況等について資料作成委託を▼産業活性化コーディネーター事業
舛井 文夫	▼広報紙とうかい▼農業の振興▼都市計画▼災害に強いまちづくり ▼自転車によるまちづくり▼東海スマートIC▼ファーマーズマーケットの利用状況▼舟石川小学校のピオトップ▼区画整理の清算 ▼舟石川近隣公園の整備▼公用車の適正な管理運用及び処分
武部 慎一	▼公共施設工事等に係る施設・土地の情報管理等▼環境政策補助事業・太陽光発電システム補助費等▼東海村除染実施計画▼学校防災にかかわる防災教育・防災管理▼学校における「いじめ問題」への対策▼学校ネットパトロール▼行政に報告された事業等情報の取扱 ▼東海村の交通手段

※ を掲載



問 高齢者への見守り対策の拡充を求める
多様な組織と連携して、見守り支援を図る

公明党 岡崎 悟 議員

議員 これまで実施を求めてきた救急医療情報キットが、概ね65歳以上の一人暮らし高齢者を対象に、配布がスタートした。今後の配布数等の予定を伺う。

福祉部長 来年度は、800個購入予定である。要援護者世帯を中心に配りその後、高齢者のみ世帯と障がい者のいる世帯に配布する。

議員 見守り支援として自治会と地域への負担を軽減する取り組みとして、地域の中にある多様で有効と思われる組織と協力し、連携を図ることを求める。

福祉部長 本村では、民生委員と児童委員の見守りの他に、地区社協のふれあい協力員活動、支援プランによる地域での見守り、乳酸菌飲料配達による見守り、生協による見守り

を展開している。茨城県は今年に入り、県内のガス会社・新聞配達組織・電力会社・宅配事業社と地域の見守り活動に関する協定を結んだ。今後はこれらの事業所・組織を活用して、見守りのネットワークの輪を広げ、切れ目のない見守り活動を目指したい。



救急医療情報キット



問

村長発言はなぜ個人的発言と答え
たのか

住民にも議会にも相談しなかった
からだ

答

新和とうかい 大内 則夫 議員

議員 9月議会で枝野大臣のところ

に行ったのは、個人の立場で要望書
を手渡したと、答弁されているので
あらためて、どのような立場で行っ
たのか質問する。

村長 村政報告会も曖昧な答弁をし、
9月議会でも曖昧な答弁をした
が村長としての立場で行ったもので
ある。

住民及び議会にも意見を求めてな
かったのでそう答えた。

議員 なぜ、個人の立場で行ったの
か、答弁になってない。住民の皆さ
んに、どう弁明し、責任をとるのか。

村長 答える必要がない。
議員 この答弁で、より疑問が深
まった。



問

省エネ・節エネ・創エネについて村
長の考えは

答

日本全体でエネルギーの転換を

光風会 恵利 いつ 議員

議員 多数のキャンセル待ちが生じ

る住宅用太陽光発電システムの補助
申請のあり方は見直しが必要ではな
いか。

経済環境部長 予約申し込みをして

もキャンセルされる方、逆に結果的
に補助を受けられなかったという
キャンセル待ちの方などの事例に対
応するため、先着順による予約受付
から設置完了後の補助申請とするな
ど要綱の見直しを検討する。

議員 電気を使って浄化する水道水
を節約するためにも雨水利用の文化
をもっと広めるべきと考える。

経済環境部長 役場庁舎に容量

200トンの地下タンクを設置し、
屋外散水や水洗トイレで利用してい
る。石神小、白方小にも地下タンク
を設置。今後建設される学校施設に

も設置の予定。

議員 身近にある雑草からエタノール
を作るなど、太陽光発電の他にも
東海村に適したエネルギー生産に取
り組むことについての考えは？

村長 技術的にまた経済的に成り立
つかが課題。今のところは太陽光発
電で行こうかと思っている。



飯田市のメガソーラー(発電出力1000kw)を視察



問

答

白方コミセン隣接地に多目的広場の確保を農地保全の考えから土地購入は考えていない

新政会 川崎 和典 議員

議員 白方コミセンは、今から20年前に造られたもので当時のニーズは取り入れて設計されたものと思う。

現状は、白方コミセンの駐車場が狭く、避難場所、コミセンでのイベント時には不十分である。コミセン南西側の土地を確保して避難時の駐車場として避難受入等に活用する。

平時は、地域のスポーツ（グラウンドゴルフ、キャッチボールやサッカーのパス等）やコミセンや白方小のイベント時に駐車場として活用してはどうか伺いたい。

総合政策部長 白方コミセンのイベント、白方小の運動会又は授業参観等には路上駐車が多く問題となっている事は承知している。白方コミセンは敷地面積10,645㎡で村内で1番広くかつ75台が駐車できる。

又重要総合プロジェクト「食と農のふるさとづくり」の観点、行政自らが農地転用することには慎重さが求められ、農地保全の考えからも現時点で土地購入は考えていない。



白方コミセン・白方小の環境



問

答

原災指針の30kmと拡散予測図の関連は如何？ 予測図は参考、原災区域設定は指針に従う

無会派 相沢 一正 議員

議員 パブコメもなく突如出された原子力災害対策指針は現行の地域防災計画策定方針とどう違うか。また指針と放射性物質拡散予測図はどう関係するか。

経済環境部長 指針ではPAZ、原発から半径5km、UPZ30kmがおよよその原子力災害対策重点区域として設定され、情報提供、モニタリング、被曝評価などの体制整備や緊急時の意志決定の基準設定などが示された。

放射性物質拡散予測図は、災害対策区域の決定の参考として示された。あくまでも参考データなので村としては、指針が示した区域で対策範囲を設定する。

議員 現行の策定方針は過酷事故は起こらない事を前提していたが、今

回の指針は、起こるとしている所が決定的な違いだ。福島原発事故を踏まえると30km圏内の人の避難はできないとの知事談話もあり、担当部局としてどう考えてるか聞きたかった。

防災計画策定は再稼働問題とは切り離して考えるべきだ。



避難訓練風景



問 保育所の入所待ち解消を急いで

答 百塚保育所を増築し、待機児減少を図りたい

日本共産党 大名美恵子 議員

議員 働く親にとり子どもが入所できる保育所がないことは、働き続けられるかどうかに関わる深刻な問題である。現在の入所希望の状況を伺う。

平成25年8月頃の完成を目指して増築し、待機児童数の減少を図りたいと考えている。

福祉部長 保育所入所児童数は12月1日現在、公立・私立合わせて725人で、定員を大きく超えている。一方、入所待機児童は、昨年10月1日時が9人、本年4月1日には33人と一気に増え、12月1日現在では50人を越えた。待機児童に係る今後の見通しは、新たな入所申し込み数と小学校入学児童数とを比較しても、待機児童が大きく減少するとは考えにくく、村としては、定員超過および待機児童の早期解消に向け、平成26年度中の幼保連携施設の供用開始に先立ち、現在の百塚保育所を

議員 定員超過により保育所入所が不可能の場合、勤務先と調整して育児休業を延長するか、延長が認められないときは離職という状況も考えられる。行政の証明書発行により、育児休業の延長手続きが円滑になる場合があると聞いたが、本村では証明書の発行を行っているのか伺う。

福祉部長 相

談があった時は発行し、延長手続きをサポートしている。



問 災害時非常用持ち出し袋の全戸配布を

答 持ち出し袋を配布する考えには至っていない

公明党 植木 伸寿 議員

議員 住民が防災への意識を高めるために、災害非常用持ち出し袋を配布できないか伺う。

経済環境部長 村は、昨年の震災を教訓にコミセンへの避難者3,500人と想定し、3日分の食料と水等の備蓄に努めているところで、非常用持ち出し袋は各自で備えてもらいうような地域のセミナー等で説明している。

議員 防災計画も策定されたが、計画に人をはめ込むのではなく、どこまでも「人の命を災害から守る」との視点で今後も推進をお願いする。

議員 日上市では、市独自で作成した持ち出し袋を本年10月から市内全世帯対象に郵送で配布した。厳しい時だからこそ村民に対し大きな励ましを送る事業となるのではないか。また、災害規模が大きく、避難所まで来られないことも考えられる。持ち出し袋の配布について検討できないか再度伺う。





問

村の農業補助事業と福島原発事故の対応

答

これまでの補助を活用、原発事故補償は要求

豊創会 村上 孝 議員

議員 農事組合法人等、村単独助成の水田条件整備補助事業は、補助率2分の1以内になっている。これからは認定農業者、農業を稼業とする者、新規農業者等を大事にすべきである。法人だけでは東海村の農業は守れない。法人並の補助に取り組むべきである。

経済環境部長 担い手に対して経営改善に必要な機械や施設等の整備に要する費用を補助する施策を検討する。

議員 原木シイタケの原木の放射性物質測定基準が50ベクレルに下げられ、東海村のシイタケは壊滅状態になった。久慈川の最後に行きつく所は東海村の海である。水は我々の命であり山、川、海の幸がある。サケは川で生まれ3、4年回遊してふるさ



原木シイタケの原木

とに戻る。健全な川を持続し守るため、広域的に取り組む考えはあるか。

村長 シイタケ栽培に焦点を当てた原木をとるという意味。流域の市町村と連絡をとり、村長になった当時の原点に帰り、県、農林水産省等広域的に働きかける努力が必要である。



問

地域振興を図るには、即時廃炉がベスト

答

原発マネーに依存する社会は極めて悪い

日本共産党 川崎 篤子 議員

議員 第8回原発立地議会サミットが、「フクシマから何を学ぶか、エネルギーとしての原子力発電」と題し、東京都内で開催された。私は、第5分科会「今後の原子力政策と地域振興のあり方」に出席し、住民が安心して地域振興を図るには、東電福島原発事故から学び、原発は即時廃炉がベストであると述べた。

そこで、脱原発をめざす首長会議呼びかけ人である村長のご意見、今後の原子力政策と地域振興について見解を伺う。

村長 原発マネーに依存する社会は、極めて悪い社会だ。他の産業の芽が摘まれ、原発関連しか生き残ることはできない。日本は、原発事故を受け、脱原発、原発ゼロを展望する時点に到達した。

固定資産税と電源交付金をひとり占めせず、日立市、常陸太田市、那珂市、水戸市、ひたちなか市の6市村首長懇談会でも話を進めていきたい。

村は、文化的、社会的価値が大きいJ・P・A・R・Cに期待し、50年余蓄積してきた人材や施設も活用しまちづくりを進めたい。



サミット全体会場

は、3自治体は、応援をいただいたことに、今度は相手方で何か災害に遭ったときは、お返しをしたい

と飲料会社との2件である。協定に対する村の考え方については、3自治体は、応援をいただいたことに、今度は相手方で何か災害に遭ったときは、お返しをしたい



菰野町での村観光協会干しいもPR

と考えること。また、災害時ばかりではなく互いに顔の見える関係を保つことが肝要かと思うので、日頃から民間レベルでの交流を進めていき、やがては、国内姉妹都市交流まで発展させていきたいと考えている。



問 災害時相互応援協定先との関係を深めるべき日頃から民間レベルでの交流を進めていく

新和とうかい 河野 健一 議員

と役場執行部では考えている。議員 ここ数年は転入者の多くが子育て世代であり、その結果、出生者数が横ばいで人口増が継続した。しかし、今年度から転入者が減少しており、今後は出生者数も減少するのではないかと。つまり、今までの人口増の傾向が大きく変わってくると

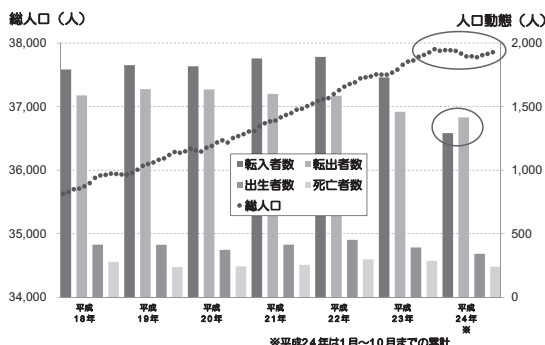
と役場執行部では考えている。議員 ここ数年は転入者の多くが子育て世代であり、その結果、出生者数が横ばいで人口増が継続した。しかし、今年度から転入者が減少しており、今後は出生者数も減少するのではないかと。つまり、今までの人口増の傾向が大きく変わってくると

と役場執行部では考えている。議員 ここ数年は転入者の多くが子育て世代であり、その結果、出生者数が横ばいで人口増が継続した。しかし、今年度から転入者が減少しており、今後は出生者数も減少するのではないかと。つまり、今までの人口増の傾向が大きく変わってくると



問 村の人口推移の変化をどう認識しているか？
答 現状では「想定内」と考えている

新和とうかい 越智 辰哉 議員



予想しており、少し先を想定して施策を検討すべきではないか？
総合政策部長 第5次総合計画の後期計画を立てていく中で、人口の変化を詳しく分析して政策に反映していく。



問

東海第二廃止後の財政等を提示すること

答

専門機関に調査委託して結果を提示したい

光風会 照沼 昇 議員

議員 我々は現在、東海第二発電所の今後について議論を重ねているが、再稼働・廃炉どちらの意見にしても、福島原発事故の不安を払拭し、東海村を寒村に戻すことなく対応するにはどうすればよいのかとの視点は一致していると思う。

ついては、行政は東海第二廃止後の財政状況や、原子力事業所等からの村内投資効果等を検証し、住民に提示すべきである。

火力発電所の稼働により村の財政は以後10年間は大丈夫。原発事業所は20年度の雇用対応として46億円を地元発注しているとのこと。

このような時期に大事なことは、変動するであろうプラスマイナスの数字等を示し、後退が見込まれる場合はその数字等はもちろん、そのた



原子力問題調査特別委員会

めに縮小や取りやめになる施策・政策等を提示するなど、村内の経済動向の変化を調査・提示する必要がある。

総合政策部長 できるだけ早くそのような調査をしたいと考えている。



問

東海スマート下り線及び大型車の利用は

答

那珂市が消極的のため大型車利用もできない

新政会 舛井 文夫 議員

議員 スマートの利用状況と下り線及び大型車利用の見通しは。

建設水道部長 一日平均利用台数は、2994台で利用増加の傾向である。

下り線の改善について那珂市と打合せを行ったが、課題の解決には至っていない。

大型車利用は、下り側の道路幅員が狭いためアクセス道路の改善が必要であり、課題解決のため、那珂市をはじめ関係機関との協議を図ってまいりたい。

議員 大災害の避難には、バス利用が不可欠であり、事務段階でなく、国・県を含めて政治的解決をすべきであるが村長の考えを伺う。

村長 JCO事故を経験し、国へも要望している。那珂市の前市長は、



東海スマートIC出入口

非常に消極的であり、海野市長も乗り気であったが、役所内で検討したら、道路の整備に金がかかるということ、腰が引けている状態である。当然ながら、原発の災害時には、どうやって避難するかというのが原点にあるので、今後とも引き続き努力していきたい。

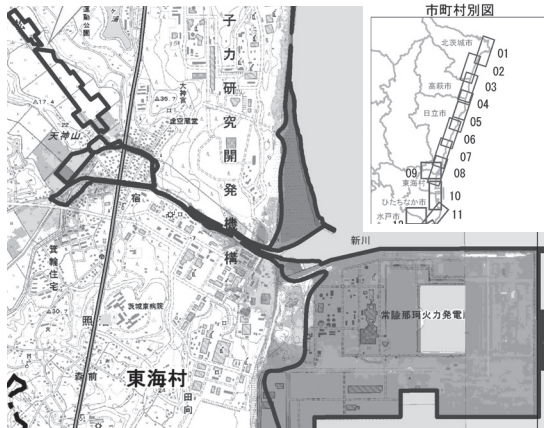


問

地質情報等は村の財産と認識し管理必要では
情報には災害対策等に役立つよう整理管理する

新和とうかい 武部 慎一 議員

議員 土地等の地質情報は、整理管理すること初めて「村の知的財産」になる。公共施設等の土地情報等は、緊急災害対応情報として重要な情報である。これまで建設・施設・土地情報等の記録管理がどのように行われたのか。情報は、緊急時・災害対策等に役立つよう、いつでも公開できるように記録等管理を一元的に行うことが必要である。今後の大規模自然災害等に備え、一般住宅地等における原型地形がどうであったのか、「盛土マップ等」の作成も重要である。考えを伺う。



津波浸水想定図 東海HPより抜粋

調査等情報は、議員ご指摘のとおり「村の財産」と認識し、緊急時や災害対策などに役立てられる情報管理を行えるよう、又、宅地造成前地形を把握し、情報収集と情報管理方法等について今後検討していく。

総務委員会

順調な復旧

(ひたちなか地区)

総務委員会（豊島寛一委員長ほか5人）は、10月17日、ひたちなか地区の5施設を訪問し、東日本大震災の被災状況や復旧状況等の説明を受けました。

各施設とも順調に復旧が進んでいる様子が伺えました。

視察場所

- 茨城港常陸那珂港区
- 常陸那珂火力発電所
- ひたちなか・東海クリーンセンター
- 那珂久慈下水道事務所
- 日立建機（臨港工場）



プラットホーム（ごみ搬入口）
【ひたちなか・東海クリーンセンター】

ひたちなか地区とは

ひたちなか市と東海村にまたがる面積1,182haの広大な開発地。産業拠点として進化を続け、レクリエーション拠点（国営ひたち海浜公園や広大なショッピングモールなど）としての魅力も充実している。

原子力問題調査特別委員会 東海第二発電所の請願審査を継続

12月18日、請願審査に係る9回目の原子力問題調査特別委員会（豊島寛一委員長ほか18人）が開催され、議論の結果、継続審査となりました。委員からは福島第一原子力発電所事故や雇用問題、エネルギーについての議論が行われました。

秋の叙勲

坏常美さんが旭日双光章を受章

昭和51年の議員初当選以来、9期36年にわたり
村発展に尽力された坏常美さんに、11月3日、旭
日双光章が贈られました。



村議会議長、副議長として
議会の円滑な運営に努めら
れ、公共下水道事業や土地
区画整理事業の推進等、生
活環境の改善や機能的な市
街化形成に貢献されまし
た。坏さんは、「議員活動
を長きにわたってご支援・
ご協力いただいた方々に深
く感謝申し上げます。これ
からも微力ではありますが、
村の発展に寄与させて
いただきます」と話してく
れました。

東海第二発電所に係る請願への意見 村議会ホームページに掲載中

10月25日・28日の2日間、東海第二発電所に
係る請願4件を審議するための意見聴取会が行
われました。延べ530人が参加し、77人から
意見が出されました。

意見聴取会やホームページ等に寄せられた意
見は村議会ホームページに掲載しています。

3月定例議会日程（予定）のお知らせ

日 程	時 間	内 容	日 程	時 間	内 容
3月 1日(金)	午前10時～	開会	3月14日(木)	午前 9 時～	予算特別委員会
3月 8日(金)	午前10時～	代表質問	3月15日(金)	午前 9 時～	予算特別委員会
3月11日(月)	午前10時～	代表質問	3月18日(月)	午前 9 時～	予算特別委員会
3月12日(火)	午後 1 時～	一般質問	3月21日(木)	午後 1 時～	予算特別委員会
3月13日(水)	午前10時～	一般質問	3月26日(火)	午前10時～	議案審議

※日程は変更になる場合があります。

※開会・代表質問・一般質問・議案審議は、議会棟2階の議会事務局窓口で住所・氏名等を記載するだけで、どなたでも傍聴できます。また、村内各コミュニティセンターや総合福祉センター「絆」でもご覧になれます。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

皆様のご多幸、ご健勝をご祈念申し上げます。

議会報編集委員一同読み易くご理解頂けるこ
とと、議会終了後一カ月で発行しニュース性を
高めることを目標に取り組んでいます。

従来は発行迄一カ月半から二カ月を要してい
ましたが、議員の協力を得て、原稿の提出を半
月短縮しました。

今後も議会だよりの使命の質の向上に向けて
創意工夫に努めますので、皆様のご感想
等を身近かな議員に寄せて頂ければ幸甚に存じ
上げます。

昨年はロンドンオリンピックのメダルラッ
シュで多くの感動と勇気を頂いたのではないで
しょうか。

ある高校野球の監督の言葉「鍛錬千日の行、
勝負一瞬の行」を想い出し、厳しいトレーニン
グをやり抜いた精神力、集中力に敬意を表した
と思います。

師走には衆議員選挙が行なわれ、投票率が小
選挙区59・32%（前回69・28%）比例59・31%
（前回69・27%）と大幅にダウンしました。

国民の一人として誠に残念な課題を残したの
ではと思っています。（K・K）

議会報編集委員会

委員長	岡崎 悟
副委員長	川崎 篤子
委員	豊島 寛一
	河野 健一
	川崎 和典
	相沢 一正
	照沼 昇